



柏崎市吹奏楽団 団長

桑野 勲

KUWANO ISAO

1971年 柏崎市出身

今年6月、柏崎市吹奏楽団の節目となる第40回の定期演奏会が市内アルフォーレ大ホールで開催される。

1981年6月「柏崎にも吹奏楽団を結成しよう」という声があがり、音楽仲間を募って8月に柏崎市吹奏楽団が結成された。それから42年、現在は高校生から社会人まで、約40名の団員が吹奏楽の普及向上を目指し、団員相互の練習・親睦を通して音楽をより楽しみ、研究・研鑽することを目的に、地域に無くてはならない音楽団体として活動を展開している。

2004(平成16)年から5代目団長として活躍する桑野勲さん。現在は、指揮者、トレーナーとして知られているが、実はトロンボーンの奏者。中学時代の部活動がきっかけで吹奏楽を始めたという。吹奏楽部の顧問でもあった担任の先生が吹奏楽団の指揮者を務めていたことや中学の頃からの部活動の先輩に誘われたこともあり、大学1年の時に吹奏楽団に入団。ずっとトロンボーンを担当してきたと話す。以前は他市の吹奏楽団に所属した経験もあり、ジャズのビッグバンドにも参加するなど、幅広く精力的に音楽活動を続けてきた。現在は吹奏楽団の活動に加え、柏崎フィルのメンバーとしても活躍。

柏崎総合高校の吹奏楽部の指導や柏崎ジュニアオーケストラの副団長など、さまざまな役割を担っている。

桑野さんは楽団のトレーナーや指揮を兼任するようになり、十数年前から高校や中学校の吹奏楽部、子供たちの指導を担うようになった。時代と共に趣味が多様化する中で学生が楽器を続けなくなっていることに危機感を覚えたためだ。「うまく吹けたとか上手になることも大事ですが、いろんな人たちが集まって一つの目的に対して努力していく。連帯感や協調性を経験していくことができるのは吹奏楽の大きな魅力。柏崎の子供たちに音楽をきちんと伝えることは大事な役割」だという。子供たちの指導をしながら、卒業して柏崎に戻ってきた時に楽器が演奏できる吹奏楽団のような存在が受け皿としてあり続けること、楽団が存在し続けることが大切だと思うようになった。時代の流れに合わせて42年続いている楽団を維持していくために団長としてやっておくことはまだあると桑野さんは感じている。

節目となる第40回の演奏会の開催は日曜の午後。多くの人に楽しんでもらえるよう大河ドラマのテーマ曲や歌謡曲など、さまざまなジャンルから親しみやすい曲が選曲されている。大切な地元の吹奏楽団の魅力、音楽の素晴らしさを存分に楽しんでいただけたらと思う。



## 柏崎市吹奏楽団

### 第40回定期演奏会

2023.6.11(日) 開場 13:30 開演 14:00

会場：柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール  
前売り500円(当日700円) 小学生以下無料

主催・お問合せ：柏崎市吹奏楽団

☎090-2748-2983(団長 桑野)



WEB